

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.26)No.	5019	(H.25)No.	5019
-----------	------	-----------	------

事務事業名	キャンプ場管理費		
担当部局名	担当室名	室長名	
産業部	観光交流室	松本 孝寿	

会計区分	事業コード	364002
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 商工費	観光施設管理費	
項 商工費	(小事業名)	
目 観光費	キャンプ場管理費	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	5	都市産業の振興
	施 策	2	観光
	小 施 策	2	集客交流機能の向上
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
指定管理制度を活用し、キャンプ場利用者への利便性を向上させ、入場者の増加を図ることにより、観光入込客数の向上を目指す。
事業内容
赤目四十八滝キャンプ場の運営及び維持管理について、指定管理者へ委託することにより効果的な運営を図る。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.25年度(事業量・取組実績)	H.26年度(事業量・取組計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	指定管理者への委託(平成24~28年度)、キャンプ場敷地・駐車場土地賃借料計3件、施設営繕工事1件(コンクリート舗装)、修繕2件(管理棟すそ、階段路)消耗品購入	指定管理者への委託(平成24~28年度)、キャンプ場敷地・駐車場土地賃借料計3件、施設用備品購入、施設営繕工事、消耗品購入	指定管理者への委託(平成24~28年度)、土地賃借料、施設用備品購入、施設営繕工事(バンガロー修繕)、消耗品購入	指定管理者への委託(平成24~28年度)、土地賃借料、施設用備品購入、施設営繕工事、消耗品購入	指定管理者への委託(平成29~33年度)、土地賃借料、施設用備品購入、施設営繕工事、消耗品購入

	H.25年度(決算見込)	H.26年度(作成時予算額)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)
①直接事業費	2,851千円	2,954千円	5,000千円	2,954千円	2,954千円
内訳(千円)					
国・県支出金					
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 2,851	2,954	5,000	2,954	2,954
人工数					
職員	0.19人	0.21人	0.21人	0.21人	0.21人
臨時職員等					
②概算人件費	(0千円) 1,444千円	1,596千円	1,596千円	1,596千円	1,596千円
①+②総事業費	(0千円) 4,295千円	4,550千円	6,596千円	4,550千円	4,550千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが必要な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

考察(H.25年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
老朽化した施設が修繕され、利便性が高まったこと、来訪者へのおもてなしにより、平成24年度に比べて利用者数が増加した。観光客誘客に向けての情報発信は手探りの状況が続いており、課題となっている。また、木造の観光施設であることから、風雨等により、応急的な修繕では対応できない傷み等も生じてきている。	利用者数をさらに増加させるため、指定管理者による自主事業・独自事業の積極的に実施する。また、ホームページやメディアを通じた情報発信の強化を図る。老朽施設の修繕については、大規模な改修工事が効果的だが、利用者数に直結する部分の修繕を優先する、防腐剤等の使用により老朽化を遅らせる等予算に応じた工夫を行う。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	施設を整備し、来訪者を温かく迎えることで利便性の向上と受入体制の整備を進め、集客交流機能が向上した。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(※実践内容を記載→)	赤目地域との連携は図れているが、赤目四十八滝渓谷保勝会や観光協会等の観光関連事業者との連携をより密にしていける必要がある。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(改善)
--	--------

具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由
施設整備による利便性の向上と、来訪者を温かく迎える接客により、利用者からの評判が良い。さらに利用者を増やすため、ホームページや雑誌、テレビ等のメディアを通じた外部への情報発信の強化について検討していく必要がある。

6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
名張市産業振興ビジョン